

上下水道事業評価(令和2年度)

担当課

下水道維持課

1 事業情報

実施方針	Ⅲ 下水道施設の適切な管理	施策目標	1 管路施設の適切な管理により事故の未然防止に努めます 1 経営基盤を強化し経営の健全化に努めます	施策	① 計画的な維持管理および改築の推進
	Ⅳ 下水道事業の経営の健全化				④ 計画的な維持管理および改築の推進(再掲)

2 事業評価の概要

項目	内容								
施策目標	・流下機能の継続的な維持や道路陥没など管路施設の不具合に起因する事故を未然に防止するため、適切な維持管理を行い、計画的に改築に取り組みます。 ・将来にわたり安定した下水道サービスを市民に提供するため、経営基盤の強化に努めます。								
施策	下水道施設の計画的な維持管理および改築を行うため、ストックマネジメント計画を策定し、膨大な下水道施設の状況を客観的に把握、評価することで、長期的な状態を予測しながら、計画的かつ効率的に下水道施設の管理を行い、建設投資にかかる経費の平準化を図ります。								
取組内容、数値目標及びスケジュール(単年度)	・污水管長寿命化計画に基づき、南平地区において老朽管渠750mの更生工事を実施します。 ・青木、横菅根地区において老朽管渠1,481mの布設替え工事を実施します。 ・市内全域において老朽化が著しい区域の管内調査16,800m、管内清掃17,200mを実施します。 ・市内全域において污水取付管や人孔蓋等の破損による小規模改修工事を実施します。								
期間	令和2年4月	～	令和3年3月						
予算額 決算額	予算額			決算額			執行率		
	単位:千円	総事業費	収益的支出	資本的支出	総事業費	収益的支出	資本的支出	単位:%	
	事業費計	903,686	336,672	567,014	879,110	322,661	556,449	97%	
	工事費	742,449	207,984	534,465	734,698	206,019	528,679	99%	
	原材料費	17,672	17,672		17,669	17,669		100%	
	委託料	143,565	111,016	32,549	126,743	98,973	27,770	88%	
	賃借料	0			0				
	その他	0			0				
人件費	54,225			54,225			100%		

3 中間評価(事業の進捗状況)

執行状況	上半期執行額	80,134千円	事業進捗度	B 予定どおりの進捗
	上半期執行率	9%		
進捗状況	・老朽管渠の管更生工事については一部設計書を作成し発注の準備段階です。 ・老朽管渠布設替え工事についてはすべて発注済みです。一部は完了していますが、大部分は現在工事中です。 ・管内調査については上半期分が発注済みです。管清掃については上半期分が完了しています。			

4 終了時評価(事業の達成度)

達成状況	・当初の予定通り管更生工事を行いました。 ・布設替え工事については、数値目標1,481mに対し1,453m実施しました。目標との差は、台帳上と実際の管の距離に誤差があったこと、また布設替えした結果、管の距離が短くなったことによるもので、事業の進捗としては予定どおりです。 ・管内調査については、数値目標16,800mに対し10,760m実施しました。ストックマネジメント計画に基づき管径450mm以上の管を対象として実施したのですが、450mm以上の管が想定より短かったためであり、事業の進捗としては予定どおりです。 ・当初の予定通り管渠清掃を行いました。			
事業達成度	B 予定どおり成果を上げた			
事業達成度 C～Eの理由				

5 指標

指標			R1	R2	R3	R4	
指標名	老朽管渠更生工事(長寿命)	単位	m	目標値	870	750	-
算出式・根拠				実績値	726	749	
指標名	老朽管渠布設替工事	単位	m	目標値	1,310	1,481	2,800
算出式・根拠				実績値	1,308	1,453	
指標名	管内調査	単位	m	目標値	17,800	16,800	15,000
算出式・根拠				実績値	13,715	10,760	
指標名	管内清掃	単位	m	目標値	19,200	17,200	17,200
算出式・根拠				実績値	20,574	17,200	

6 視点評価

視点	評価項目	視点評価	視点	評価項目	視点評価
効率性	投入した事業費に見合った成果を出せたか。	B 予定どおりできた	説明責任	顧客やパートナー企業等の意見や苦情に真摯に対応したか。	B 予定どおりできた
有効性	業務指標等の向上に貢献したか。	B 予定どおりできた	組織学習	事業目的達成のため、組織学習を十分行ったか。	B 予定どおりできた

7 総評価

総合評価	事業を実施する上での課題及び改善方針	今後の実施方針
B 予定どおり成果を上げた	維持補修については、年度により業務量の変動が大きい場合があることから、適切な予算の配分、確保をする必要があります。	現状維持で継続